



平成27年10月23日

学校だより 第8号  
苫小牧市立苫小牧東小学校

# 太陽の子

ホームページURL <<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/tomahigashi-es/index.html>>

## 東小の教育目標

### 東小の子は太陽の子

- 進んで学ぶ かがやく子
- 思いやりある あたたかい子
- 心身ともに健康な 明るい子

## 「文化の秋・芸術の秋」

校長 寺田 洋子

10月末には、学校行事の中の文化的行事として『学習発表会』が開催されます。秋は、「芸術の秋」とも言われますが、学習発表会では、日常の学習の成果を発展させ、発表し合ったり鑑賞し合ったりする活動を通して子どもたちがよりよいものを創り出す喜びを体得し、美しく優れたものに触れることによって、豊かな情操を育てていくことを大切にしております。



そして、特に、友だちや他の学年の仲間との協力や発表・演技を見合うことによる交流を通して、これまで気付かなかった友だちの良さを知り、自分自身の新たな可能性を発揮できたら、最高です。子どもたちには、「学習発表会は仲間とともに創り上げる」行事であるということ意識させ、子どもたち一人一人が積極的に参加し、最後までやり遂げたことに対し深い感動がえられるように導いて参りました。

学年ごとに児童の発達段階に応じた演劇や器楽合奏・合唱などを練習してきました。演技する本人が一番楽しそうな1年生もかわいらしく、小学校の思い出として、大作に挑んだ6年生たちは、力強い演技と最高学年としての堂々とした姿での発表が期待されます。この子たちの成長を誇りに思う気持ちでいっぱいです。

また、「錦秋の候」とも申しますが、私の記憶にありますのは、小学校唱歌

秋の夕日に 照る山もみじ  
濃いも薄いも 数ある中に  
松を彩る楓や蔦は  
山のふもとの裾模様・・・・・・・・



このような日本の美しい四季ある風情を子どもたちの心に残しておきたいものです。これからは校舎周辺や校庭の木々も色を増し、秋の気配が濃くなっていきます。

本格的な文化・芸術の季節とともに、学校では2学期の後半に向け、今までの学びをもとに、教科を通した目標に向かいじっくり取り組ませてまいります。



## ご紹介



### 「みんなちがってみんないい」

私が両手をひろげても  
お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのように、地面（じべた）をはやく走れない

わたしがからだをゆすっても  
きれいな音はでないけど  
あの鳴るすずはわたしのように  
たくさんのうたは知らないよ

すずと、小鳥とそれからわたし、  
みんなちがって、みんないい。  
金子みすず（1903-1929）の詩

この作品は、「あなたはあなたでいい」「いるだけで百点満点」とうたっている金子みすずさんによるものです。

今、隣に座っている友だち一人一人が『一人の人間』としてとっても尊い存在で、誰もが幸せに生きる権利『人権』をもっています。みんながそう思っていると、きっと優しい気持ちになれるでしょう。

人と優しく接することができる『いじめ』なんていう言葉はなくなります。

「みんなちがって、みんないい。」大切にしたい言葉です。



